

【平成26年度 河川巡視結果】

1 巡視日時及び場所

巡視日	時 間 (管轄消防署)	巡視場所 (河川等)
4月15日(火)	9時30分～11時15分 (青葉消防署)	広瀬川 (澱橋から霊屋橋までの区間) 川内川前丁地内、霊屋下地内
	13時30分～15時00分 (宮城野消防署)	七北田川 (左岸、右岸、河口) 蒲生字町、西原地内、白鳥一丁目地内
4月16日(水)	9時00分～11時00分 (若林消防署)	貞山運河 藤塚・二郷堀・大堀排水機場、井土浦樋門
	13時30分～15時00分 (太白消防署)	谷地堀 郡山字原田、郡山字谷地田東
4月17日(木)	9時00分～11時30分 (泉消防署)	七北田川 (左岸、仙台川合流地点) 山田川、花輪川
	13時30分～15時00分 (宮城消防署)	広瀬川 (左岸) 芋沢字新田地内、芋沢字大竹新田下地内

2 参加機関

宮城県	宮城県仙台土木事務所
仙台市	危機管理室防災都市推進課 都市整備局住環境部開発調整課 建設局百年の杜推進部河川課 建設局下水道事業部下水道調整課 建設局下水道事業部下水道北管理センター 建設局下水道事業部下水道南管理センター 青葉区役所区民部区民生活課 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課 宮城野区役所区民部区民生活課 若林区役所区民部区民生活課 太白区役所区民部区民生活課 泉区役所区民部区民生活課
消防団、消防局	各消防団、各消防署、消防局

3 参加人員

巡視場所 (管轄消防署)	県・市 関係	消防団員	消防職員	計
広瀬川 (青葉消防署)	9 名	3 名	14 名	26 名
七北田川 (宮城野消防署)	11 名	7 名	7 名	25 名
貞山運河 (若林消防署)	11 名	15 名	9 名	35 名
谷地堀 (太白消防署)	9 名	3 名	13 名	25 名
七北田川 (泉消防署)	8 名	6 名	16 名	30 名
広瀬川 (宮城消防署)	8 名	5 名	7 名	20 名
合 計	56 名	39 名	66 名	161 名

4 巡視結果

(1) 広瀬川 (青葉消防署)

広瀬川の両岸には、堤防等の浸食、崩落は見られず、異常箇所は認めない。

平成 26 年度は、河川内の堆積土砂掘削工事を行い、広瀬川の流量を確保する。河川敷内の樹木伐採、流木撤去作業を年 1 回程度実施する。東日本大震災による花壇地区の河岸崩落箇所は、既に復旧工事が完了している。その他、三居沢から広瀬橋間の巡回パトロールを定期に行っている。(宮城県仙台土木事務所からの情報提供。)

広瀬川左岸の土手には、雨水の放流場所が数十か所存在する。通常時の雨水は、雨水管を通してのものの、短時間雨量が大量の場合には、その放流場所から広瀬川へ雨水を直接放流する場合がある。(建設局下水道北管理センターからの情報提供。)

今後も各機関と連携し、水防上危険箇所の実態把握に努め、水害対策の確立を図る必要がある。

(2) 七北田川 (宮城野消防署)

七北田川右岸の堤防破損箇所は、平成 25 年 3 月に復旧工事を完了している。

高砂橋上流の堤防は、平成 27 年 3 月までに地盤沈下分の堤防嵩上げ工事を行う予定である。高砂橋下流の堤防は、用地取得後、関係機関との協議が整い次第、防潮堤と同じ高さの津波対応堤防工事を行う予定である。(平成 28 年度末の完成を予定。)

河口は、堆積土砂の除去作業が完了し、現在築堤工事が行われている。

貞山堀と七北田川の接続部分は、仮設のフラップゲートが設置されている。

和田排水樋門は開閉可能であり、七北田川の水位が高い場合、建設局下水道南管理センター職員または契約業者により閉鎖する対応としている。(建設局下水道南管理センターでは、七北田川の水位を遠隔監視している。)

白鳥一丁目地内には、仮設排水ポンプを 6 台 (1 台あたり毎分 4 t の排水能力) 設置している。都市排水路には水位計を設置し、建設局下水道南管理センターにおいて水位変化を遠隔監視している。都市排水路の水位が上昇した場合、建設局下水道南管理センター職員または契約業者により仮設排水ポンプを起動する対応としている。短時間豪雨等により仮設排水ポンプの排水能力を上回ると判断した場合は、国土交通省東北地方整備局に対し所管する排水ポンプ車 (1 台あたり毎分 30 t の排水能力) の運用を依頼できる。

七北田川の堤防は復旧工事が進んでいるものの、河口部の築堤護岸工事、堤防嵩上げ工事の完了までに時間を要する。今後も、堤防や排水ポンプ等の復旧状況を随時確認していく。水防警報発令時の初動を迅速にするため、各機関との連携を深め、水防活動に十分な注意を払いながら災害対応力を強化していく必要がある。

(3) 貞山運河 (若林消防署)

藤塚排水機場は既に復旧し、状況に変化はない。現在、二郷堀排水機場と井土浦樋門との中間に新二郷堀排水機場を建設している。新二郷堀排水機場へつなぐため、二郷堀橋下流から南側へ迂回水路を建設している。

井土浦樋門は、貞山運河と井土浦川の水位調整を行うもので、津波による破損箇所を既に改修している。

二郷堀排水機場は、仮設建屋と排水機の改修工事が完了し、稼働可能である。

貞山運河の今年度の堤防関連工事は、東日本大震災により沈下した部分を、元の高さに戻す工事を行う予定であり、平成 28 年度完成予定としている。(宮城県仙台土木事務所からの情報提供。)

貞山運河と名取川の接続部分には、国土交通省により水門を設置している。同様に、貞山運河と七北田川との接続部分にも水門の設置を予定しているものの、現在はせき板を設置している。

今年度の河川巡視により、排水機場がほぼ改修されたことを確認した。現在も水路等の改修は継続していることから、今後の改修状況を確認し、水防対策を検討していく必要がある。

(4) 谷地堀 (太白消防署)

谷地堀の下流端は旧策川と合流し、旧策川の下流端は名取川と合流する。平成 6 年 9 月 22 日の集中豪雨により名取川の増水や支流への逆流等が発生、谷地堀が氾濫し床上浸水 4 戸、床下浸水 20 戸の被害をもたらした。

現在は、旧策川と名取川との合流地点に水門を設置、名取川からの逆流を防止できる。谷地堀及び旧策川からの排水対策のため、名取川との合流地点（水門）付近に遊水地を設けている。

谷地堀の改修工事を計画していたものの、東日本大震災の発生により中断していた。今年度は、改修工事計画の修正を行い、来年度から再度改修工事に着手することを予定している。（建設局河川課からの情報提供。）

谷地堀には、護岸の崩れや洗掘等の異常は認めない。今後、改修工事の動向について情報収集しながら、付近の水害対策に活用していく。

(5) 七北田川、仙台川、山田川、花輪川（泉消防署）

七北田川左岸は、平成 24 年度中に護岸工事を完了している。今年度は、七北田橋付近から下流右岸の護岸工事に着手し、3 年後の完了を予定する。仙台川では、平成 26 年秋頃から護岸工事を再開、平成 27 年 3 月末までに完了する予定である。

山田川は、平成 24 年 6 月の台風 4 号により氾濫し被害が発生した。その後、山田川の護岸工事（カゴマット工法）を行い、平成 25 年 12 月に完了している。また、山田川付近の農業用水堀から越水し住宅被害が発生したことから、地盤の掘り下げ工事を行った。掘り下げ工事により、農業用水堀から山田川へ排水可能となった。山田川の復旧工事は全て完了している。その他、新館下橋付近の河川敷を残土置場（要害川護岸工事に伴う残土）として使用しているが、平成 26 年 5 月末までに撤去する予定である。

花輪川は、花輪橋下流から西田中川合流点までの護岸工事を行い、平成 22 年度に整備を完了した。また、花輪橋上流 200m 地点（根白石字花輪 9 付近）と、850m 地点（根白石字花輪山下地内）において、ブロック積み工事を行った。200m 地点は平成 26 年 3 月、850m 地点は平成 25 年 10 月に、それぞれ工事を完了した。花輪橋上流の 500 m 地点（福岡字穴田地内）では、平成 26 年度に災害復旧工事を予定している。

今後、工事状況等について関係機関から情報収集し、的確な水防活動を行っていく必要がある。

(6) 広瀬川（宮城消防署）

芋沢字新田地内は、昨年度からの変化を認めない。西仙台病院東側には聖川があり、聖川では護岸工事を行っている。聖川の水位が上昇した場合、大堀橋付近から越水する可能性があるものの、付近道路の嵩上げ等の計画はない。

芋沢字大竹新田下地内では、右岸の土砂を平らにならす工事が完了している。今後、河川の状況確認を継続していく。

今後予定されている護岸工事計画は、愛子東団地北側の工事のみである。

関係機関と連携し、水防警報等発令時の迅速な初動対応に努めていく。